

## 【普通科】 2年次 【選択】 科目 「コミュニケーション英語Ⅱ」 授業のシラバス

### 1 概要

教科名	外国語科	科目名	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	4単位（156）
科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。根室高校 CAN-DO LIST の STAGE 3 を目標とする。				
教科書 (出版社)	Vivid English Communication II NEW EDITION (第一学習社)	副教材 (出版社)	夢をかなえるリスニング（1） センター準備編		

### 2 学習の方法

#### (1) 予習について

教科書の内容を元にして授業を進めていきます。予習として、単元の文法項目をチェックするなど事前に取り組んでください。1年次の「コミュニケーション英語Ⅰ」で学習した内容も出てきますので、予習というよりは復習を兼ねたものになります。2年次で新しく学習する内容も、もちろん、予習をしてから授業に臨むようにしてください。

#### (2) 授業について

コミュニケーション英語Ⅱの授業では、英語の4技能（聞くこと・話すこと・書くこと・読むこと）を横断的に高めることを目的として学習をします。教科書の内容が中心となりますが、人の意見や考えを聞いたり、あるいは自分の考えを英語で発信したりするような活動もありますので、授業への積極的な参加が求められます。

#### (3) 復習について

どの科目についても言えることではありますが、毎回の授業で学習した内容をその日の内に振り返ってください。それでもわからない場合はそのままにせず、教科担任（あるいは外国語科の先生方）に積極的に質問をし、必ず次のステップへ進むための準備を怠らないようにしてください。

#### 〈学習アドバイス〉

英語は「実技教科」です。赤ちゃんが言葉を覚えることができるのは、その言葉を日常的に聞いて音を覚え、わからないなりに声に出して自分の意思を伝えようとすることを繰り返すからです。英語の学習方法には様々なものがありますが、コミュニケーション英語Ⅰでは、「インプットしたもの（学習した知識）を必ずアウトプットする（声や文字にして相手に伝える）」ことに重点をおいて、授業を進行させます。ですから、授業内で中心となる「書く」活動や「話す」活動に積極的に取り組むことで、みなさんの英語力は必ず向上します。間違ふことや恥ずかしいと思う気持ちを捨てて、仲間や先生方と楽しく英語を学習しましょう。

加えて、英語はもはや暗記教科ではありません。英単語には「イメージ」があります。スペルと意味を丸暗記するというよりは、イメージから意味を想像できるようになると、後に応用力が育まれ、幅広いレベルの英語に対応できる力を身につけることができます。まずは、あなた自身の英語の学習方法から見直してみたいはいかがですか？

### 3 評価について

#### (1) 評価の観点

観 点	趣 旨
① コミュニケーションへの関心・意欲・態度	積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ることができる。
② 外国語の表現	話したり書いたりして、情報や考えを適切に伝えることができる。
③ 外国語の理解	聞いたり読んだりして、情報や考えを的確に理解することができる。
④ 言語や文化への知識・理解	言語やその運用についての知識を身につけ、背景にある文化を理解することができる。

#### (2) 評価の方法（以下観点①～④は「(1) 評価の観点」と対応する）

観 点	評価材料		定期考査・確認テスト 実力テスト	Attitude	Lesson Quiz	Individual Work	Pair/Group Work
		割合					
① コミュニケーションへの関心・意欲・態度	×	25%	定期考査ではなく、授業内での取組、スピーキングテストやプレゼンテーションで評価をします。	○		○	○
② 外国語表現	○	25%	自分の意見や考えを、「話すこと」と「書くこと」を通じて、相手に的確に伝えることができる。		○	○	○
③ 外国語理解	○	25%	「聞くこと」と「読むこと」を通じて、相手の考えや意思を、適切に理解することができる。		○	○	○
④ 言語や文化についての知識・理解	○	25%	英語が持つ言語的性質を理解し、英作文や英会話の際に適切に運用することができる。		○	○	○

#### 〈担当者からのメッセージ〉

- ・授業中、学習と関係のない私語は厳禁です。
- ・定期考査は、授業で学習した内容から幅広く出題します。
- ・ライティングやスピーキングテスト、プレゼンテーションの評価の方法や基準については、授業の中で事前に周知をします。
- ・レポートや英作文等の課題が出された際には、提出期限をしっかりと守ってください。
- ・授業で使用する教材を忘れてきた者は、授業が始まる前に教科担任に申し出てください。

【普通科】 2年次 【選択】 科目 「コミュニケーション英語Ⅱ」授業のシラバス

月	単元	時数	学習内容	観点別評価	到達目標	考查等
前期 4	<b>オリエンテーション</b>	12	・「コミュニケーション英語Ⅱ」を履修するにあたってピクトグラムとは何か？ ● 進行形・受け身 ● 第2文型(=現在分詞・過去分詞) ● seem to ~	全てのレッスンで①～④を総合して評価します。	<各単元における評価の観点> ① 演習・ペアワーク・グループワークを積極的な姿勢で行うことができる。 ② 授業内での「話す」活動や「書く」活動、または定期考査において、学習した文法や表現を基に、自分の意見や考えを適切に表現することができる。 ③ 授業内での「聞く」活動、または定期考査において、学習した文法や表現を基に、相手の考えや情報を的確に理解できる。 ④ 授業内で学習した文法や表現を通して、英語という言葉の特性を理解できる。	前期中間考査
5	<b>Lesson 1</b> Pictograms – Useful Signs on Streets	12				
6	<b>Lesson 2</b> Fun with Pakkun	12	バックン来日のきっかけ ● It is ... (for A) to ~ ● 第5文型 ● All you have to do is ~			
7	<b>Lesson 3</b> Origami Is Not Just a Piece of Paper!	12	折り紙の歴史について ● It is ㊦ + that 節 ● S + V + it + C + that 節 ● S + V + O + O (=名詞節)			
8	<b>Lesson 4</b> Numbers Talk	12	G2g や CU などの読み方 ● 関係代名詞の制限用法 ● 関係代名詞の非制限用法 ● 完了形 ● 完了形+受け身			
9	<b>Lesson 5</b> The Doctor in the Stomach	12	体内を診察する方法について ● 群動詞(受け身) ● 進行形(受け身) ● 関係副詞の制限用法 ● 関係副詞の非制限用法			
後期 10	<b>Lesson 6</b> Nature for the Next Generation	14	小笠原諸島はどんな島？ ● 「時・理由」を表す副詞節 ● 分詞構文(現在分詞) ● 「推量」を表す助動詞 ● 助動詞 + have + 過去分詞			
11	<b>Lesson 7</b> A Young Man in the Sea Who Made a Change	14	ペリー来航の裏に… ● 「時・理由」を表す副詞節 ● 分詞構文(過去分詞) ● 関係代名詞…前置詞 ● 前置詞 + 関係代名詞 今日の公共交通の問題点 ● 仮定法過去 ● 5文型(知覚動詞など) ● 5文型(C = 過去分詞) ● 同格の that			
12	<b>Lesson 8</b> Streetcars in the 21 <sup>st</sup> Century	14				
1	<b>Lesson 9</b> The Challenge of Disarmament	14	アフガンでの儀式 ● 使役動詞 have + 過去分詞 ● 完了不定詞 ● 仮定法過去完了 ● 省略			
2					後期期末考査	
3	<b>Lesson 10</b> Inventing Innovative Things for Society	14	ガラスびんの利点 ● 倒置 ● 分詞構文(完了形) ● as if + 仮定法 ● 複合関係詞			
	<b>Reading 1</b> The Safe	14				
	<b>Reading 2</b> The Joker	計 156				

※ 観点別評価①は関心・意欲・態度、②は表現する能力、③は理解する能力、④は知識・理解を表しています。

※ 授業計画は進度により前後することがあります。